

Finland

ヘルシンキ中央駅構内に
折り詰め寿司の駅弁屋が大好評

文&写真=秋家さちこ



右上) 脂ののったサーモンがメイン。甘口醤油をつけて食べる。
右下) 花崗岩でできたヘルシンキ中央駅の駅舎。左上) この看板が本物のかと振り返ったり、戻ってきては確認する人が多い



info.

Soyo-Ekiben

住所: Helsingin Rautatieasema, 00100 Helsinki
Tel: +358-50-5019836

隣国ロシアとフィンランドを縦横に結ぶ基点となるヘルシンキ中央駅構内に、持ち帰り寿司店「Soyo-Ekiben」がある。北欧といえば、サーモンの産地。それだけに、フィンランド国内には鮭を通じて寿司文化が浸透している。

同店がオープンしたのは、2009年6月。それ以来、駅構内のわずか2㎡の小さな木造ブースは、注目の寿司スポットとなった。店長によると、サンドイッチの代わりに寿司を買う感覚で購入する人が多く、寿司が入った日本の駅弁文化は好評だ。値段は、サーモンがメインの8巻入りが8ユーロ70セント(約990円)からと、フィンランドのランチメニューの平均価格よりやや高めだが、木曜日と金曜日にはブースの前に長蛇の列ができる。中にはよほど空腹だったのか、買うなりその場で食べる人もいるほど。「駅弁」に続く、次なるヘルシンキ中央駅のブームは「立ち食いそば」かも?

Italia

空前のジャパンプームに乗って
ミラノで開催された“MIJAPAN”

文&写真=atsunosuke satake

イタリアのミラノでは、日本の文化遺産の展示や伝統芸能が、昨年に紹介されたこともあり、空前のジャパンプームが巻き起こっている。そんな中、秋空の広がる10月1日から10月3日に「MIJAPAN」という日伊交流イベントがミラノ中心部にて開催され、3日間で約3000人の来場者を迎えた一大イベントとなった。まだジャパンエキスポなどが行われたことがない、イタリアで初の総合的な文化紹介のイベントとなり、折り紙や将棋、舞踊といったコーナーでは、興味津々のイタリア人たちがまごつきながらも日本文化に親しむ姿が見受けられた。デザインの街ミラノを象徴するように、日本文化に影響を受けたイタリア人が制作したオリジナル商品なども話題を呼んでいた。最終日には、日本とイタリアの交流として日本のシンボルである、桜の木が贈呈され、日本の文化がイタリアに根づくよう、温かく見守られた。



右) 各ブースには多くの人々が集まり、見て、触れて、それぞれの日本文化を体験。左上) 「MIJAPAN」会場の入り口風景。左下) ミラノ市役所役員と地元ミラノ日本人学校の生徒たちによる「桜の木」贈呈式

info.

MIJAPAN

住所: Via San Barnaba 38 Milano 20122 Italy
Tel: +39-2-48370408 www.mijapan.net

HongKong

芸者のようなしっとり肌を求めて
日本酒トリートメントが大人気

文&写真=リン美雪, sense of touch



右) 日本酒が入った風呂で、約50分間リラックス。左上) 5階建てのモダンな外観。6店舗あるが、日本酒トリートメントはここだけ。左下) スパの内観。一人ではなく、友達同士やカップルでも利用できる

info.

sense of touch

住所: 1-5F, D'Aguiar Street, Lan Kwai Fong, Central, Hong Kong
Tel: +852-2526-6918 www.senseoftouch.com.hk

おしゃれなバーやクラブが集まる、眠らない街香港を代表するナイトスポット、蘭桂坊。この毎夜賑いを見せるエリアの一角に、ビール、ワインそして日本酒を使ったシグネチャートリートメントを楽しむことができるスパ「sense of touch」がある。香港女性の間で注目を集めたのは、日本酒と米を使用した「for heaven's sake」。

まず日本酒入りの樽風呂に浸かり、心地よい香りの中でのリラックスした後は、米粒を使った全身スクラブと続く。日本酒の成分は、古い角質を取り除き肌をしっとりさせる効果があるといわれ、日本酒コスメを愛用している香港人女性はこのトリートメントを希望するという。日本酒風呂!! と最初は驚き客もいるようだが、「芸者の美の秘訣は日本酒」という説明を読み、一度体験してみるとその効果を実感。リピーターになるそうだ。